

## 第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

児童 男子18名 女子17名 計35名  
指導者 金田郁子

## 1 単元名 ぼくらの町じまん

## 2 単元について

## (1) 児童について

1学期は、生活科の学習経験を生かし、自分たちの身近な町の良さを調べ、他の地域の方々に発信していく中で、自分たち自身が地域の良さや人々の想いを知る「ぼくらの町じまん」に取り組んだ。はじめは戸惑う児童も多かったが、徐々に一連の学習の流れが円滑になってきている。

しかし、学習の深まりの点については、目の前に見える事象（社会科では公共施設や商店など、本単元では地域の文化や産業、自然）はとらえることはできるが、その良さや特徴、それらにかかわる地域の人々にはまだ自分で気付くことができない児童が少なくない。そこで、活動を充実させ学習を深めさせるために、児童の学習の成果を発信し、それを他から評価してもらうことで児童自身に気付かせ、改善につなげていきたいと考えている。

次に、研究主題にかかわる情報活用の視点についてであるが、身のまわりの事象に興味・関心に強くもつ児童であり、調査・取材での情報収集にも意欲的である。反面、得られた情報から課題解決するために必要な情報を整理・考察することが十分とは言えず、自分の興味・関心に左右されてしまいがちである。どうすれば相手によく伝わるかを考えたり、工夫したりすることは本単元ははじめ、他教科においても留意しているところである。

新聞によるまとめについては、課題解決したことを評価・改善するためにまとめ、発信するといったまさに総合的な学習の時間と深く関係しており、全校体制で各教科でもこれまでも取り入れてきた。児童は一番自分が伝えたいことを考えながら新聞を作ることができるようになり、学習のまとめを社会科などの調べ学習でも生かすことができると気付くことができた。課題解決を図るための学習の楽しさや友達と協力する有効性についても感じ始めている。しかし、低学年から新聞を書くことにはある程度慣れてきたものの、本単元でまとめに書いた1学期の新聞は、まだまだ聞いたことや見たことをそのまま書いたものがほとんどで、学習をより深める視点の指導が必要である。

今後は、課題解決的な学習の仕方を意識できるように見通しを持たせたり、内容的にも事象だけでなく、良さや特徴、それらに関わる地域の人々に目を向けた課題意識をもたせたりして、学習に取り組ませたい。

## (2) 単元について

学習指導要領には 第1 目標「横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、共同的に取り

組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。」とある。本校では総合的な学習の時間において身に付けさせたい力として3つの力を挙げている。「課題解決や問題解決的学習過程や追及のためのいろいろな学習活動の仕方を習得する」力、「論理的な考え方をして、自分の考えを作り出す」力、「各教科で得た知識や技能などを相互に関連づけ、学習や生活において使う」力である。第3学年として期待する子どもの姿は「身近な人々を見つめ、自分の考えや気持ちを表現できる子ども」が挙げられている。本単元は、生活科で取り組んだ「町たんけん」に取り組んだ児童になら無理なく期待する子どもの姿に近づくことができる考え、設定した。

本単元は自分たちの身近な町の良さを調べ、他の地域の方々に発信していく中で、自分たち自身が地域の良さや人々の想いを知るものである。

本単元で児童には、身近な地域の良さに関心をもたせ、地域の文化や産業、風景などの良さを取材・調査する活動を通して、それらを創り、育て、守る人々の存在や想いに気付かせたい。また、地域の一員として生活し、できることをしていこうとする態度を育てる一助としたい。

さらに、児童にとって初めての総合的な学習の時間の取り組みになるので、学習の進め方を学んでいくことができるように、一連の学び方を習得させたい。特に、課題づくりと途中段階や最終段階における交流を大切に扱い、総合的な学習の時間の目標に迫りたい。

地域に目を向け、改めて取材・調査することで地域の特徴や良さをより深く追究するのにふさわしい単元であり、本単元で学習したことは再び社会科の「まちたんけん」、国語科の「質問をしたり、感想を言ったりしよう」「報告する文章を書こう」等の教科の学習にも生かしていく。

### (3) 指導にあたって

総合的な学習に児童が興味や関心をもち、「できそうだ。」という見通しをもつように計画を意識して扱い、それを通して総合的な学習の一連の学び方を習得させる。目的を持った調べ学習の結果は、目的や相手を意識した表し方でまとめる。その際には、新聞にまとめると次の5点で有効であると考え。①書き手の思いを明確にする、②読み手を意識して伝える、③情報を精選する、④仲間と協力、交流する、⑤情報の発信及び、読み手の反応から学習を振り返ったり、自分の生活を考えたりする、である。

児童が自分の思いを明確にし、目的・相手意識を強めるために、課題把握の学習の場を大切に扱い、長い本単元への学習意欲向上につなげたい。目的・相手意識を明確にした形の情報の発信は学習をより筋の通った学習計画へと導き、児童が見通しを持った学習を行いやすいものとする可以考虑。

交流の場も大切に扱う。最終的に作品ができあがった場面だけではなく、途中過程においても、仲間と交流することで、友達の良さに触れ、互いに深く考え、より良いものを作り出そうとする心を育てたり、学習における各技術の向上を図ったりすることにつなげたい。

1学期は身近な地域のよさを探し、大体を把握した上で、2学期はそれらを支えている人々や自然といった背景に迫ることができるようにしたい。

### 3 単元の目標と単元の評価規準

観 点	単 元 の 目 標	単元の評価規準
課題を解決する能力	○身近な地域やそこに暮らす人々に関心をもち地域の文化や産業、風景などについて課題設定をし、調べ、そこで分かった身近な地域の文化、産業、風景などの良さやそれらにかかわる地域の人々の想いに気付き、それらを表すことができる。	○課題解決のための見通しをもち、目的を明確にし計画を立て調べ学習をしている。 ○相手に伝える目的をもって情報を発信している。 ○地域の良さやそれを守る人々の想いについて気付いている。
学び方やものの考え方	○調べ方やまとめ方など総合的な学習の時間の学習方法を身に付けることができる。	○課題設定や調べ方、分かったことのまとめ方を身に付けている。
主体的、創造的、共同的な態度	○友達と協力して調べることの有効性に気付き、学習方法や調べて分かったことについて交流する喜びを味わい、考えを深めることができる。	○友達と分担して調べたり、分かったことをまとめたりしようとしている。 ○友達の学習方法や発表の良さを探してそれを互いの学習にいかそうとしている。
自己の生き方	○地域の良さやそれを守る人々へ自分の考えをもつことができる。	○地域の良さやそれを守る人々へ自分の考えをもっている。

5 本時の指導 (19 / 40)

(1) 目標

1 学期に作った新聞を読み返し、町自慢をするためには人々の関わりなどの背景 (願い・工夫・努力や自然的条件) に視点を当てた方がよいことに気付くことができる。(課題を解決するための能力)

(2) 評価の観点と具体的評価規準

評価規準	十分満足	概ね満足	指導の手立て
1 学期につくった新聞を読み返し町自慢をするためには人々のかかわりなどの背景に視点を当てるとよいことに気付いている。	「概要」「背景」という視点で考えると1学期につくった新聞に何が必要か気付く。「背景」が必要。	友達と学習する中で「概要」「背景」という視点で考えると1学期につくった新聞に何が必要か気付く。「背景」が必要。	付箋紙で新聞記事の内容を分類させる。モデルとして教師の新聞を用いて分類の仕方を一斉指導する。

(3) 展開

段階	学習活動 発問及び指示 (○) 児童の反応 (・)	評価・留意事項 評価 (※) 留意事項 (・)
つかむ 5	<p>1 1 学期に作った新聞を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の新聞を送った相手の反応を話す。</li> <li>ビデオレターを見る。</li> </ul> <p>2 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>調べたことをもっと自まんでできるようにするには、何をつけたせばよいのだろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオレターの内容 →他地域の交流センターの方 ①児童がつくった新聞を読んだ感想</li> </ul>
深める 35	<p>3 ビデオの続きや教師自作の新聞を見て、1 学期につくった新聞に足りない事を考える。</p> <p>○ビデオを見て二子町の方が大切にしていることは何か考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオより、二子町の方が大切にしていることを確認する。(ワークシート)</li> <li>①概要「短く言ってどんなこと？」</li> <li>②背景 (1) 人々の知恵や想いに関わること 「人々の願い・工夫・努力は？」</li> <li>③背景 (2) 昔や自然に関わること 「なぜ、その○○ (事象) ができたのか？」</li> <li>・新聞より、1 学期につくった新聞とこれからつくろうとする新聞の違いを大まかにつかむ。</li> </ul> <p>4 同じ話題の人同士で1 学期作った新聞を持ち寄り、①概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオレターの内容 (続き)</li> <li>②地域のお祭りの概要 「二子いものこ祭り」 (実際の二子いものこ祭りの様子も見る。)</li> <li>③お祭りの願いや工夫、努力 「町おこしと伝統を受け継ぐ」</li> <li>④お祭りの背景 「里いもがたくさんとれる」 「地域の人々の地域への愛着」</li> </ul>

	<p>②③背景について書いているかK J法を使い考える。 ○自分が書いた記事を付箋紙を使って(①②③について)仲間わけをしていきましょう。 (モデル新聞で一斉学習→個人学習→グループ学習) ・付箋紙で必要な情報を取りだし整理していく中で、概要は書いているが、願いや工夫、苦労や歴史などの背景はあまり書いていないことに気付く。</p> <p>5 各グループで分類整理した情報を全体で確認する。 ・どの話題についても、概要は書いてあるが、背景にあたることについてはあまり書いていないことから、それらについては取材しようとする。</p>	<p>※情報を整理する中で、自分たちのつくった1学期の新聞には何が必要か気付く。(プリント、発言)</p>
<p>まとめ 5</p>	<p>6 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;もっとじまんでできるようにつけたすこと&gt; ・ねがい ・なぜそれができたか ・<sup>れきし</sup>歴史 ・<sup>くろう</sup>苦労 ・<sup>くふう</sup>工夫</p> </div> <p>7 自己評価をし、本時の感想をもつ。</p> <p>8 次時の学習を知る。</p>	<p>・次時は中心課題の予想を立てたり、詳しい取材事項を考えたりする。</p>

(4) 板書計画

10/14 (金) ぼくらの町じまん <もっとじまんでできるようにつけたすこと>

1学期に作った新聞 → もっと詳しく知りたいな

ねがい くろう くふう  
 どりよく れきし  
 なぜそれができたか

課題 調べたことをもっとじまんでできるようにするには、何をつけたせばよいだろう。

①短く言うとどんなこと? 黄色 ← 多

②人々のねがい・工夫・努力・苦労 ピンク

③なぜそのことができたの? (昔の事) 青 ← 少

<1学期と2学期の新聞のちがい>

	1学期新聞 ぼくらの町じまん	2学期新聞 もっと ぼくらの町じま n
メンバー	席順	同じ話題の人
書き方	絵日記ににてる	個人新聞ににてる
話題	いろいろ	同じ
内容	自分が書きたい事	自分が書きたい事 ①短く言うと ②人々のねがい・工夫・ ③なぜできたのか?

## 第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

児童 男子18名 女子18名 計36名  
指導者 佐藤俊哉

## 1 単元名 ぼくらの町じまん

## 2 単元について

## (1) 児童について

児童は、1・2年生の生活科において、身近な自然を観察したり、地域にある商店街や住宅街の探検をしたりする学習を行ってきた。その中で、自分達の生活は様々な場所や地域の人々とかわっていることに気付くことができ、それを新聞などで表現してきた。さらに、3年生の社会科の学習では、学校の周りの様子をつかんで、絵地図に表すなどの活動を行ってきた。

1学期に取り組んだ「ぼくらの町じまん」では、黒沢尻東地区を中心に、町じまんになるような場所や行事などを意欲的に取材したり、調べたりしてきた。そして、取材したことを詳しく文章で書いたり、イラストを入れたりして、新聞にまとめる活動を行ってきた。その中で課題設定～調査・取材～情報の整理・考察～まとめ・発信という、総合的な学習の学習過程を身に付けることができた。しかし、取材をして、人や物とのかかわりを通した中で、人々の思い、願いやそのものが町じまんとなるような理由などまで詳しく取材し、まとめるまでには至らなかった。

2学期には、事象だけでなく、人々の思い、願い、背景や町じまんとなるような理由といった学習の視点を決め、より一層詳しく取材してまとめられるように、学習に取り組んでいる。

## (2) 単元について (P28 参照)

## (3) 指導にあたって (P29 参照)

## 3 単元の目標と単元の評価規準 (P30 参照)

## 4 単元の指導計画 (P31 参照)

## 5 本時の指導 (29/40 時間)

## (1) 目標

「ぼくらの町じまん」で取材してきたことをもとにグループで話し合い、取材した内容を分類・整理する中で、どの内容が一番大切なのか、テーマ（願いや背景など）に合った理由もつけて判断することができる。(学び方やものの考え方)

(2) 具体の評価規準

具体の評価規準	十分満足	概ね満足	支援を要する児童
取材した内容を分類・整理する中で、どの内容が一番大切なのか、テーマに合った理由もつけて判断することができる。	どの内容が一番大切で、トップ記事になるのか、テーマに合った理由もつけて判断することができる。	どの内容が一番大切で、トップ記事になるのか、自分なりの理由をつけて判断することができる。	どんなことを取材してきたかを確認させ、全体をとらえさせる。

(3) 展開

段階	学習内容と活動 発問・指示 (○) 児童の反応 (・)	評価・留意事項 評価 (※) 留意事項 (・)
つかむ5	<p>1 前時までの学習内容を確認する。</p> <p>2 課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">しゅざいしたことを交流し、どの内容をトップ記事にするか、考えよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動の見通しをもたせる。</li> <li>・課題を読み、課題を意識させる。</li> </ul>
深める35	<p>3 共通話題を提示し、どういう内容をトップ記事にするか、学級全体で考える。</p> <p>4 グループ内で取材してきたことと、どんな記事にするのかを話し合う。 ○グループで取材したことを出し合ひましよう。</p> <p>5 話し合ったことをもとに、どの内容をトップ記事にするか、その理由もグループで考える。 ○どの内容をトップ記事にするのか、グループで考えましよう。</p> <p>6 各グループで決めたトップ記事とその内容を選んだ理由を発表する。</p> <p>7 各グループで出されたトップ記事からいくつか取り上げ、その良さを学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数ある中からどの記事をトップ記事にしたらよいか、その理由も含めて、学級全体で考える。この後の学習の例示とする。</li> <li>・リーダーを進行役とし、取材した記事の下書きを見て、取材内容を確認していく。取材して簡単にまとめた内容を事前に準備しておく。</li> <li>・トップ記事の要件は、テーマに合っていること、読み手は知らないことであることを気付かせていく。さらに要件を踏まえて、トップ記事ととらえた理由を書かせる。</li> <li>※どの内容をトップ記事にするかを判断し、テーマに合った理由も考えて、意見を出し、カードに書くことができる。(カード、観察)</li> <li>・各グループのトップ記事を黒板に貼る。グループの代表が選んだその理由も発表する。</li> <li>・いくつかのトップ記事を取り上げ、話し合いを上手に行っていたグループの良さや複数の記事からトップ記事にする価値(良さ)に気付かせる。</li> </ul>
まとめ5	<p>8 本時の学習活動の振り返りをする。</p> <p>9 次時に学習活動を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※どの内容をトップ記事にするのかを考え、話し合いに積極的に参加することができたか。(学習カード)</li> <li>・次時は、それぞれの記事に「見出し」を付ける活動を確認する。</li> </ul>

(4) 板書計画

10/14 ぼくらの町じまん				
課題：グループで取材したことを発表し合い、どの内容をトップ記事にするか、考えよう。			まとめ：テーマに合っているもの、読む人が知らないものがトップ記事になる。	
北上コロッケ トップ記事 (理由)	北上駅 トップ記事 (理由)	公園 トップ記事 (理由)	お祭り トップ記事 (理由)	【食べ物系】 トップ記事 (理由)
鬼剣舞 トップ記事 (理由)	諏訪町アーケード トップ記事 (理由)	諏訪神社(きゅうり天皇) トップ記事 (理由)	北上川 トップ記事 (理由)	

**単元のテーマ：「ぼくらの町じまん」～おいでよ、ぼくらの町へ～** 相手：北上市内の黒東小学区以外の方々 様式：グループ新聞

<p>学習の場①</p> <p>活動を見通しながら課題を設定する。</p>	<p>ぼくらの町じまん計画を立てよう。(3)</p> <p>課題づくり</p> <p>1. 北上市内の他地域の「町じまん」を知り、自分の地域の「町じまん」を探る意欲をもつ。新聞記事から黒東小学区の自慢を探し、「町じまん」の見通しをもつ。(計画とゴールの確認)(1)①</p> <p>2. 家族など身近な方々から「町じまん」を調べる。(1)②</p> <p>3. 社会科の町探検や家族などから調べたことを分類・整理しながら、各自の調べたいことを明確にする。(課題設定)(1)③</p>	<p>＜評価規準＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「町じまん」に興味関心をもとうとしている。(主：感想)</li> <li>・課題解決のための見通しをもち、簡単な計画を立てる。(課：発言)</li> <li>・「町じまん」について情報収集している。(学：プリント)</li> </ul>
<p>学習の場②</p> <p>計画に基づいて必要な情報を取り出す。</p>	<p>取材を進めよう。(6)</p> <p>取材・調査</p> <p>4. 機械的にグループを作り、何を取材すればよいか確認する。よりよい取材項目になるよう、取材項目について交流をする。(1)④</p> <p>5. 取材・調査の仕方を確認・練習をし、調べる計画を立てる。(2)⑤⑥</p> <p>6. 取材・調査(3)⑦⑧⑨</p>	<p>＜評価規準＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何を取材・調査すればよいか理解し課題を見付けている。(学：プリント)</li> <li>・「町じまん」について情報収集している。(課：プリント)</li> <li>・友達と協力して学習に取り組もうとしている。(主：観察、プリント)</li> </ul>
<p>学習の場③</p> <p>取り出した情報を課題と結びつけて分析し、考察する。</p>	<p>取材内容を整理して記事として書きたいことを決めよう。(編集会議)(2)</p> <p>情報の分類・整理</p> <p>7. 取材したことから一番伝えたいことを明確にして「見出し」を考え交流をし、改善を図る。(2)⑩⑪</p> <p>相手に分かりやすく伝わるような記事を書こう。(4)</p> <p>記事の執筆</p> <p>8. 前学年までに学んだ新聞の書き方をふまえ、分かった事実や思ったことを意識して記事の執筆に当たる。(2)⑫⑬</p> <p>9. グループ毎に推敲をし、清書をする。(2)⑭⑮</p>	<p>＜評価規準＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収集した情報を分類・整理し、「見出し」を考えている。(学：新聞記事)</li> <li>・相手を意識し、自分の考えや収集した情報を新聞にまとめている。(学：新聞記事)</li> </ul>
<p>学習の場④</p> <p>考えを深める。</p>	<p>取材・調査したことや考えたことを発信しよう。(3)</p> <p>交流・発信</p> <p>10. グループ毎に発表の練習をする。(1)⑯</p> <p>11. 「ぼくらの町じまん」を発信する。視点を決めて交流をする。(2)⑰⑱</p>	<p>＜評価規準＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と協力して学習に取り組もうとしている。(主：観察)</li> <li>・「初めて知ったこと」等を視点に感想をもっている。(学：感想)</li> </ul>
<p>学習の場①</p> <p>活動を見通しながら課題を設定する。</p>	<p>もっとぼくらの町じまん計画をたてよう。(2)</p> <p>課題作り</p> <p>12. 1学期に調査したことより、調査が質的に深まるための視点を明らかにする。(1)(3-3本時)⑲</p> <p>13. もっと取材したいことが共通の者同士グループとなり、各グループの具体的な課題や取材項目を考える。(1)⑳</p>	<p>＜評価規準＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期につくった新聞を読み返し町自慢をするためには人々のかわりなどの背景に視点を当てるとよいことに気付いている。(課：プリント、発言)</li> </ul>
<p>学習の場②</p> <p>計画に基づいて必要な情報を取り出す。</p>	<p>取材を進めよう。(6)</p> <p>取材・調査</p> <p>14. 各グループ毎に取材項目の分担を決める。(1)㉑</p> <p>15. 取材・調査の仕方を確認・練習したり、結果の予想を立てたりして取材・調査の計画を立てる。(2)㉒㉓</p> <p>16. 取材・調査(3)㉔㉕㉖</p>	<p>＜評価規準＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と協力して学習に取り組もうとしている。(主：観察)</li> <li>・「町じまん」についての調査・取材の結果の予想を立てている。(課：プリント)</li> <li>・「町じまん」について情報収集している。(課：プリント)</li> </ul>
<p>学習の場③</p> <p>取り出した情報を課題と結びつけて分析し、考察する。</p>	<p>取材内容を整理して、記事として書きたいことを決めよう。(編集会議)(4)</p> <p>情報の分類・整理</p> <p>17. 取材してきたことを整理する。(1)㉗</p> <p>18. 学級やグループの課題に対する自分なりの答えを考える。(1)㉘</p> <p>19. グループ毎に各自の考えを交流し、何を記事にするか明確にする。(1)(3-2本時)㉙</p> <p>20. それぞれの記事の「見出し」を考える。(1)㉚</p>	<p>＜評価規準＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取材・調査の結果を整理し、中心課題や各グループ毎の課題に対する答えを自分なりに考えようとしている。(主：プリント)</li> <li>・取材した内容を分類・整理する中でどの記事が一番大切なのか判断している。(学：カード)</li> <li>・収集した情報を比較したり関係付けたりして「見出し」を考えている。(学：新聞記事)</li> </ul>
<p>学習の場④</p> <p>考えを深める。</p>	<p>相手に分かりやすく伝わるような記事を書こう。(6)</p> <p>記事の執筆</p> <p>21. グループで役割分担をし、執筆計画を立てる。(2)㉛㉜</p> <p>22. 新聞の基本的な書き方(大事なこと→詳細)を押さえ、分かった事実や思ったことを意識して記事の執筆に当たる。(2)㉝㉞</p> <p>23. グループ毎に推敲をし、清書をする。(2)㉟㊱</p>	<p>＜評価規準＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と協力して学習に取り組もうとしている。(主：観察)</li> <li>・大事なことから書くと相手がわかりやすいことを押さえ、自分の考えや収集した情報をグループ新聞にまとめている。(課：新聞記事)</li> </ul>
<p>学習の場④</p> <p>考えを深める。</p>	<p>取材・調査したことや考えたことを発信しよう。(4)</p> <p>発信・交流</p> <p>24. 「もっとぼくらの町じまん」新聞を読み合い、身近な地域の大切さを考える。(2)</p> <p>25. 新聞と他の表現方法を比較しそれぞれの良さを考える。(1)㊲</p> <p>26. 学習を振り返り、自分たちに付いた力を確認する。(1)㊳</p> <p>単元のゴール㉔「ぼくらの町じまん」を他の地域の方々に伝え、「ぼくらの町」に関心をもってもらおう。</p> <p>1 身近な地域のこと(文化、産業、風景など)とそれを創り、育て、守る人々の想いに気付き、身近な地域を大切にしようとする。</p> <p>2 身近な地域のことや地域の人々の想いを新聞形式で発信・伝達できる。</p> <p>3 交流する喜びを味わい、考えを深めることができる。</p> <p>4 総合的な学習の仕方を学ぶことができる。</p>	<p>＜評価規準＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が地域のために何ができるのか考えたり、総合的な学習の仕方をふり返ったりしている。(自：感想)</li> </ul>